

「第 16 回男性介護者ケアの集い」ニュース

令和 6 年 2 月 15 日（木）「第 16 回男性介護者ケアの集い」を開催しました。初めて参加された方を含め、5 人の参加者がありました。今回は、佐々町社会福祉協議会のケアマネジャーさんからの事例紹介や認知症啓発短編作品の視聴を行いました。

「はじめて参加し、思いを聞いていただき、安堵しました。」

S さん（75 歳）「男性介護者ケアの集いには、2 年前から何度も声をかけてもらっていたが、人前で話をするのが苦手で、参加するのを戸惑っていた。今日は、勇気を出して参加した。妻に良かれと思い行っても、妻に感謝の念もなければ、裏切られることも多々ある。自分は気が短く、妻の言動についカッカしてしまい、自分が言い過ぎたと気づくこともある。自分にも責任があると反省するけど、怒りを抑えるのが大変で、手を出さないように我慢するのが精一杯。自分のその症状については主治医に相談し、薬を処方してもらった。それを服用して、今は落ち着いている。なぜこんなにカッカしてしまうのだろうと反省してしまう。最近、初めて『尿取りパッド』を購入した。それまでは、買い物に行くのが恥ずかしくて行けなかった。勇気を出して買いに行くとなんてことはなかった。」と自分の気持ちを正直に話してくださいました。参加者からは、「あ、もうよかとおっしゃっておられるが、あきらめず本当によく介護をされている。ご自身と向き合い、振り返りをしっかりとされている。尿取りパッドやおむつを始めて購入する時の心境は、わかる様な気がします。自分もそうであった。」と共感する声が聞かれました。この会に参加され同じような思いや行動で悩んでいることを打ち明けてくださった S さんの勇気に皆さん、敬意を表しておられました。

「体験した成功例を聞くことが大事!!」

A さん（80 歳）「今まで利用していたデイサービスがなくなり、去年 6 月から違う施設のデイサービスに変わった。今の所は、本人にとってもあっているようで休まずに利用している。今日は、デイサービスの日ではないので、妻は一人留守番をしている。炬燵にいとほとんど動こうとしない。足腰が弱るので、天気がいい時は二人で歩いて買い物に行く。家の近くでは、過去に 2 回転んだことがあるので、手をつないで行く。

何度も注意するように声をかけると妻はすぐに怒り出すからやりにくい。

息子は、成人して遠くにいるのに、本人の記憶の中では、息子はまだ学生のままである。息子に弁当を持たせるため、夜中に起きて弁当を作っていることが度々ある。何度注意してもすぐに忘れて作り続けている。「長男は、〇〇にいる。弁当はいらん」と炊飯器の上に貼り紙をしたら、作らなくなった。何度注意しても、夫の忠告には耳を貸さず、感情的になってしまうことも多い。どのようにしたら、間違っただけに気づいてもらえるか難しい。貼り紙を見ることでその行為が減ったことは、ほっとしている。問題行動に対しての対応として皆さんが体験した成功例を聞くことが大事である。」と話してくださいました。

佐々町社会福祉協議会のケアマネジャーさんより事例報告

～自宅をリフォームして認知症がひどくなった 80 代女性～

A さんは夫が亡くなり、一人暮らしで畑仕事をされていた。県外に住む息子さんは、A さんの物忘れを知り同居を決め、自宅をリフォーム。ところが A さんは、家の環境が変わったことで、自宅を集会所と間違えるようになり、それまでできていたことが全くできなくなり、認知機能低下が進行した。そこで介護保険を申請し、デイサービスを利用することとなった。夜中に何度もトイレで失敗が続き、介助する息子さんの負担が大きくなり、ショートステイも利用して介護を続けていた。ある夜、息子が知らないうちに裸足で外を徘徊して帰ってきた。息子は、自分一人で介護は難しいと判断し、施設入所を決断した。

ケアマネジャーさんからの一言～男性の介護者の方々は、本当に優しく、自分の限界まで抱え込んでいる方も少なくありません。いろんな認知症状があり、認知症の方の行動は、予測不可能なことがあります。頑張っておられるご家族に対して、これ以上「自宅で頑張れ」とは言えないこともあります。ケアマネジャーとしては、ご家族や利用者に寄り添う支援を常に心掛けています。



「認知症をあきらめない」の視聴

2002 年認知症啓発短編作品「澤口家の夏」(第 1～4 話)

母、息子家族の 3 世代同居世帯の中で、母のおかしな言動に家族は認知症とは認めきれず、戸惑いながら対応に苦慮する。病院受診で認知症と診断を受け、母の病気について理解し、家族みんなで支えていくという認知症啓発作品だった。

今は核家族化が進み、家族の介護負担はより厳しく、介護保険サービスなどの利用で対応する時代へと変わった。しかし、「認知症になりたくない」「人に知られたくない」という考えは、今も昔も変わっていない。認知症への理解をしっかりと浸透させていく活動の重要性を感じた。



集いの様子

次回の集いのお知らせ

*第 17 回男性介護者ケアの集い

日時：4 月 18 日(木) 10 時から 12 時

場所：健康相談センター

*梅松カフェの開催

日時：4 月 4 日(木) 13 時から 15 時

場所：福祉センター 2 階

今までのニュースのバックナンバーについて

佐々町ホームページから「組織から探す」→「多世代包括支援センター」→「男性介護者ケアの集い」を検索すると今までのニュースを閲覧することができます。